

取組実績⑬

様々なセンサと接続できる「環境」監視クラウドシステム「OKIPPA_Green」



インフラサービス

- 様々なセンサと接続し遠隔地の環境データ(温度・CO₂・湿度・日射量・水位など)を把握できます。
- 管理者の経験値を見える化し、時系列の変化や、日平均温度や積算温度などの集計により、データに基づいた最適な施設管理を可能にします。

◆ 取組概要

取組背景

- 農業分野での営農者や後継者不足のなか、省力化推進の取組や農業所得の向上に向けた多品種化の取組みなど生産管理技術の高度化に併せて、IoT技術を活用した農業の実現が期待されています。
- 当社が開発したLPWAとIoT技術を活用した傾斜監視クラウドシステムを農業分野に応用し、農作業の省力化を図るため“手軽”に開始できる環境監視クラウドシステムの量産機を生産し、新たな環境監視サービスを2019年6月より開始しました

本システムの特徴

- ① 様々なセンサと接続できる「OKIPPA_Green」
- ② 現地に行かずともセンシングデータ管理が可能
- ③ 計測データに閾値を設定しアラームメールを発信
- ④ Wi-Fi環境などを構築する必要がない
- ⑤ 防水仕様により屋外で使用可能
- ⑥ 通信BOX及びセンサは電池駆動
- ⑦ 制御BOXと連動させ機器制御可能

OKIPPA®
Green T/X
1年間電池交換不要



◆ OKIPPA Green センサー一覧

温度・雨量

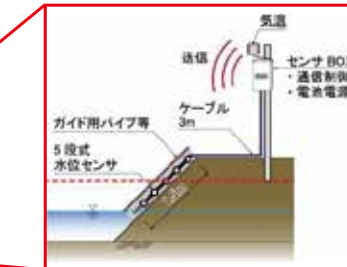


温度・湿度



ビニールハウス内

温度・水位



風向風速計 (PV稼働)



CO₂



温度・日射



圃場

わな検知



◆ OKIPPA Green を用いたきくらげ栽培コンテナレンタル事業

きくらげ栽培用コンテナをOKIPPA_Green(温度・CO₂計測)で計測し、データにあわせて、換気の自動制御による栽培実証を行いました。自動化により最適な栽培環境から逸脱した状態にならないため、従来より収穫量10%増、高規格品(サイズと厚みが一定以上のもの)の比率が12%増となりました。このような実証結果を活かし、パッケージ化したきくらげ栽培用コンテナのレンタル事業開始しました。コンテナは山梨県で4基、京都府で1基で稼働しています。



コンテナ内栽培状況



きくらげ栽培用コンテナ外観

